

既設ALPS B系 クロスフローフィルタ二次側絞り弁からの滴下事象

2019年1月31日

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

概要及び時系列

■ 概要

- 2019年1月22日、多核種除去設備（既設ALPS）B系の前処理設備（ステージ1）におけるクロスフローフィルタ二次側絞り弁からの滴下（1滴／5秒）、および水たまり（40cm×200cm×1mm）を確認。なお、発見時に既設ALPS（B系）は停止中であった。
- 漏えい水は、多核種除去設備建屋に留まっており、建屋外への流出はない。
- 漏えいは当該弁のグラウンド部からであり、増締めを実施して滴下の停止を確認した。

■ 時系列

【1月22日】

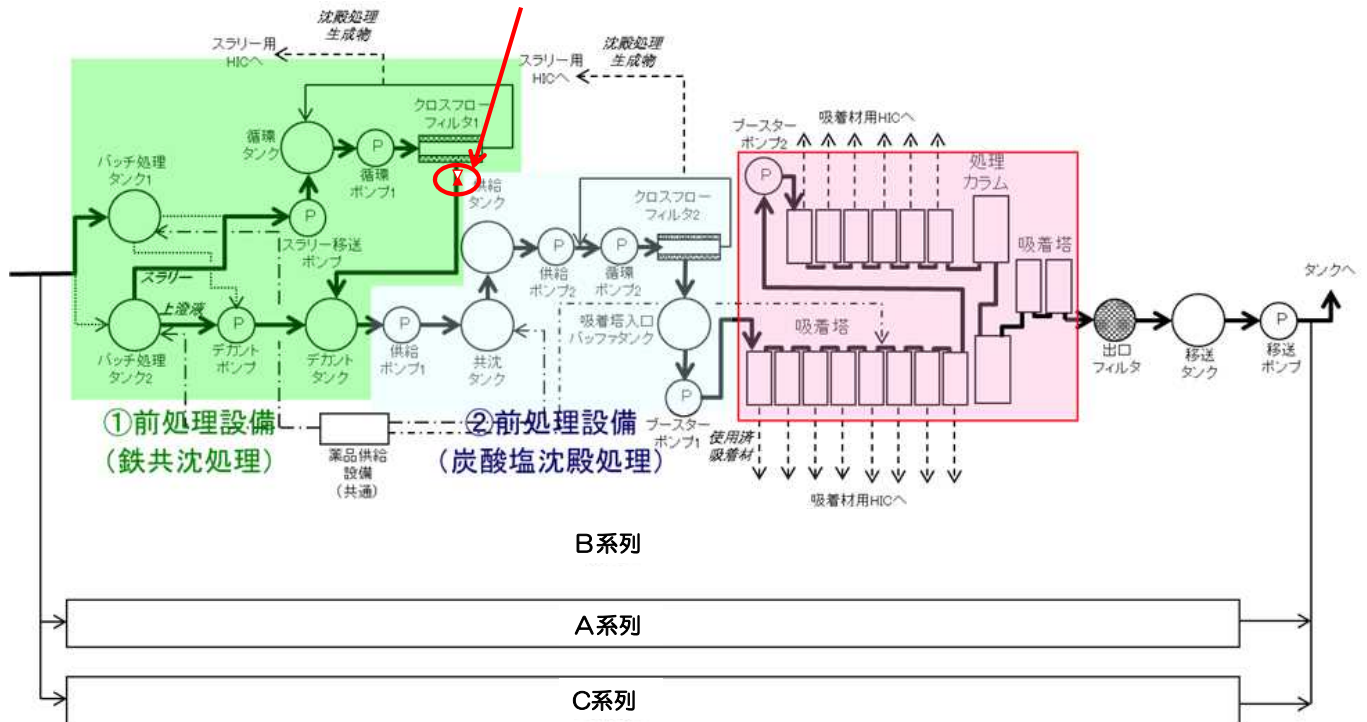
9：47 既設ALPS B系前処理設備（ステージ1）クロスフローフィルタ二次側絞り弁からの滴下を確認

10：07 当該弁のグラウンド部増締めを実施

10：17 滴下の停止を確認

滴下発生箇所

クロスフローフィルタ1, 2B二次側絞り弁



TEPCO

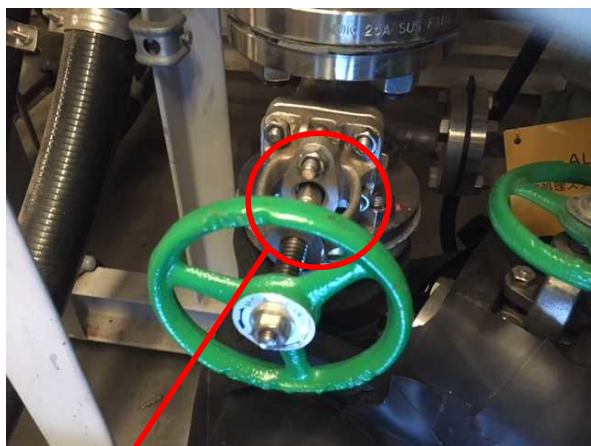
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

2

漏えいの状況

■漏えいの状況



漏えい箇所 (弁のグランド部)



水溜り状況 (現在は拭き取り済)

■推定原因と対応

当該弁は二次側流量調整等を実施することから操作頻度が高いためグランドの緩みが発生したと考えられる。

グランド部の増締め実施後漏えいが停止していることから、養生を実施して継続監視を行い、今後分解点検を行うことを検討する。

TEPCO

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

3